

第2期栗東市総合戦略の進行管理及び評価・検証について

1. 進行管理について

第2期総合戦略は、第六次総合計画に定める施策を「まち」「ひと」「しごと」をキーワードに地方創生の視点で再編（体系化）したものであり、位置付けとしては総合計画の下位に位置する個別計画です。

このことから、第2期総合戦略に掲げる「具体的施策・取り組み」については、各所属が実施する第六次総合計画の施策と一体的に進行管理を行うものとします。

（＝第1期総合戦略のように地方創生関連事業のみを取り上げて進行管理するのではなく、地方創生の視点を踏まえ、位置付けを明確にした上で総合計画の中の一施策として進行管理を行います）

なお、第六次総合計画の施策のうち、総合戦略に位置付けがあるものについて取りまとの上、実施計画として位置付けるものとします。

2. 評価・検証について

(1) 総合計画の施策の一部としてのめざす姿の達成度評価

個々の「具体的施策・取り組み」の評価・検証については、総合計画の進行管理・評価の中で実施することとします。

(2) KPIの達成度評価

第2期総合戦略に掲げる「数値目標・重要業績評価指標（KPI）」の達成度について、担当部局での一次評価に加え、内部組織（まち・ひと・しごと創生本部会議）及び外部組織（地方創生懇談会）で二次評価を行うとともに、各施策の効果検証も同様に実施するものとし、この結果については、議会にも適宜報告します。

なお、二次評価については単に実績を確認し、評点をつけるのではなく、今後の方向性を含めた評価を行うものとします。

⇒ 以上のことから、これまで毎年作成していた「地方創生関連事業評価シート」は、令和元年度実施事業の評価・検証をもって終了し、第2期総合戦略の始期である令和2年度以降は作成しないものとします。